2026　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	理学療法治療学(脊髄損傷)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室　機能訓練室
担 当 教 員	大丸　利沙	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場に従事し、以前は養成校に勤務していた。		

《授業科目における学習内容》

脊髄損傷の症状，合併症，対麻痺の理学療法，四肢麻痺の理学療法について理解し，基本的な理学療法手技を習得すると共に脊髄損傷患者の心理状況の移り変わりを理解でき、機能障害だけではなく、人間的な関わりができるよう講義する。

《成績評価の方法と基準》

期末試験90%、レポート点10%によって判定する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「脊髄損傷に対するPT・OTアプローチ」MEDICAL　VIEW

《授業外における学習方法》

講義の復習が中心。わからないことは自主的に調べ、理解していることはさらに理解を深める。

《履修に当たっての留意点》

脊髄損傷はリハビリテーションの4大疾病の一つであるが、再生医療など近年の医学の発展により脊髄の再生が可能になれば、回復段階に応じた理学療法が必要になるであろう。このような最先端医療も含め、脊髄損傷患者へのリハビリテーションについて学んでほしい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷の病態や障害像について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊損の病態と現状 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷の基礎知識		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄の解剖・神経症状・レベルについて理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊髄の解剖・神経症状等 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊髄の解剖・神経症状・レベル・不全麻痺の病態像		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における心理社会的アプローチについて理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :尿路障害 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	障害受容		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における合併症について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :合併症 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	合併症		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷の理学療法評価(Zancolliの分類、ASIAによる評価)について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :理学療法評価 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法評価(Zancolliの分類、ASIAによる評価)		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における急性期の理学療法について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :理学療法(急性期) 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法的介入　1、急性期		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における回復期の理学療法について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :理学療法(急性期) 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法的介入　2、回復期		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における急性期の理学療法について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :理学療法(基本動作) 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法的介入　3、基本動作		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における移乗動作について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :理学療法(移乗動作) 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法的介入　4、移乗動作		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における立位・歩行について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :理学療法(立位・歩行) 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	理学療法的介入　5、立位・歩行訓練		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における日常生活動作及びトランスファーについて理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :日常生活動作 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	日常生活動作及びトランスファー		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷における車椅子及び住宅改修について理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :車いす・住宅改修 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	車椅子及び住宅改修		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷者が行うスポーツについて理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :機能障害について 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	障害者スポーツ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷の症例情報を元に臨床推論ができる	指定テキスト	事前学習(30分) 講義内容のまとめ 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	グループワーク(ケーススタディ)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷に関する国家試験問題を理解する。	指定テキスト	事前学習(30分) 講義内容のまとめ 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	国家試験対策①		